

# <英文法超基礎⑨⑧> Lv.★★★★☆ 関係詞⑤

## ① 関係代名詞 what の重要表現

① (1. ) : 「2. 」 = (3. )

(例) He is what we call [what is called] a man of culture.

「彼はいわゆる教養人だ」 ※ what we call [what is called] の後ろに C がくる

② (4. ) : 「5. 」

(例) It was cold, and what was worse, it began to rain.

「寒かった。そしてさらに悪いことに、雨が降り出した」 ← 挿入句として用いられる!

③ (6. ) : 「7. 」

(例) What with the wind and (what with) the rain, our picnic was spoiled. 「雨やら風やらで、私たちのピクニックは台無しになった」

④ (8. ) = (9. )

「10. 」 ← A : B = C : D のイージ

(例) <sup>A</sup>Reading is to <sup>B</sup>the <sup>C</sup>mind what <sup>D</sup>food is to <sup>E</sup>the <sup>F</sup>body.

伝えたいこと

=

(誰もが知ってる) 当たり前のこと

「読書と精神の関係は、食物と肉体の関係と同じだ」

(← 読書は精神に対して、食物が肉体に対する関係にある)

⑤ (11. ) : 「12. 」

(例) I gave him what little money I had. (← what は「関係形容詞」)

(= I gave him all the little money (that) I had.)

「私は少ないながら持っていたお金を残らず彼にあげてしまった」

※ what = (13. ) : 「14. 」のニュアンスが含まれることもある

I'll give you what I had. 「私は持っているものすべてをあなたにあげるだろう」

## ② 前置詞 + 関係代名詞 + to V

(15. ) が名詞を修飾する用法がある。

He needs a house in which to live. 「彼は住むべき家を必要としている」

= He needs a house to live in. ← 不定詞の形容詞用法

### ③連鎖関係代名詞節

He is a boy [who I think is a genius]. 「彼は私が天才だと思う少年だ」

→ He is a boy who I think that is a genius.  
主格 接 S = a boy

このように、関係代名詞の直後に「S+V」などが入り込んだように見える形を、  
連鎖関係代名詞節と呼ぶ。

### ＜連鎖関係代名詞節のポイント＞

① (16. )という形を見たら、この用法を疑う!

Tom is the only boy I know can speak Spanish.  
S V V

② 例文のように、この構造では (17. )であっても (18. )できる。

Tom is the only boy (who) I know can speak Spanish.

③ この用法のVには、(19. )や (20. ), (21. ), (22. )など

(23. )を取るタイプがくる!

↑ このとき、(24. )ことに注意!

④ 挿入されている部分を ( ) に入れてみるとわかりやすい。

Tom is the only boy [who ( I know ) can speak Spanish].

「トムは、スペイン語が話せるのを私が知っている唯一の男の子だ」

⑤ (25. )も同じ用法がある。

Do < what ( you believe ) is right > 「あなたが正しいと思っていることを  
⑦ ⑧ S V<sub>1</sub> V<sub>2</sub> C ⑨  
しなさい」

### ④二重限定 ← ③と混同しやすい

He is the only boy [ (whom/that) I know ] [ who can solve the problem ].  
① ②

→ the only boy を ① whom I know が限定し、それをさらに ② who can solve the problem が限定しているので、二重限定と呼ばれる。

「彼は私が知っている少年のうち、その問題を解決できる唯一の少年だ」

→ 「彼はその問題を解決できる、私の知り合いの唯一の少年だ」